

ル可ラズ之ニ反シテ事業繁忙ニシテ組合員ノミニテハ勞力ノ不足ヲ感ズル場合ニハ組合員以外ノ勞働者ヲ僱使セザル可ラザルコトアリ。又勞働者ハ終身同一ノ業務ヲ執ルモノニ非ラズ種々ノ原因ニ基キテ其業ヲ轉ズルコトアルベシ其子孫タル者常ニ父祖ノ業ヲ襲ヒ世襲ノ家業ニ從事スルコトモ亦甚ダ稀ナリ。是等ノ場合ニ於テ勞働者ハ必ラズヤ其所屬ノ生産組合ヲ變更セザル可ラズ。是等ノ事情ニ基キ各國ノ生産組合ニシテ其創立ノ趣意ニ背カズ其本來ノ目的ヲ失ハズシテ永久ニ存續セルモノ甚ダ少ナク或ハ組合員ノ幾部ハ只其持分ノミヲ有シ利益ノ配當ニ與リテ毫モ勞力ヲ供出セズ宛然株式會社ノ株主タルガ如キ者アリ或ハ組合員以外ノ勞働者ノ數ハ多キニ失シ此種ノ勞働者ト組合トノ間ニ勞働條件ニ關スル衝突頻リニ起ルコト資本家ノ工場ト其趣ヲ異ニセザルモノアリ。由是觀之生産組合ノ内部ニ資本家ト勞働者トノ區別ナキハ其創立ノ際ニ限り漸次此區別ノ復活スルコトヲ豫期セザル可ラズ之ヲ要ス

生産組合ノ利益

ルニ生産組合ハ本來ノ性質ニ於テ社會主義ト何等ノ關係ナシ而シテ自由競争ト私有財産トノ二大原則ニ抵觸スルモノニ非ズ從ツテ現時ノ經濟組織ニ在ツテ之ニ依リテ勞働者ノ地位ヲ改良シ福利ヲ増進スルコトヲ得ベク之ヲ以テ一種ノ社會改良主義ノ畫策トナス亦何ノ不可ナルコトナカルベシ。

生産組合ノ性質是ノ如シトセバ其ノ社會改良策トシテノ効力ハ自ラ之ヲ知ルニ難カラズ抑モ雇傭關係ニ依リ資本家ノ爲メニスル勞働ニ在ツテハ生産ヨリ生ズル純益ハ資本家ニ歸シ勞働者ハ只一定ノ賃銀ヲ受クルニ過ギザルヲ常トス。然ルニ生産組合ニ在ツテハ組合員ニシテ勞働ニ従事スル者ハ普通ノ賃銀ヲ受クルト與ニ純益ノ配當ヲ受クルコトヲ得ルナリ。而シテ此純益ノ配當タル純益分配制ノ如クニ資本家ト勞働者ノ間ニ分配セラル、ニ非ラズシテ其全額ヲ舉ゲテ勞働者ノ間ニ分配セラ

純益ノ配當ニ與ルコトヲ得ルナリ。而シテ組合員ニ非ラズシテ臨時ニ組合ニ備入レラレタル勞働者ハ資本家ノ工場ニテ勞働スル者ニ比スレバ勞働者タル地位ハ敢テ異ナル所ナキモ勞働條件ニ關シテ大ニ寬待セラ
ル、コトアルヤ言フ俟タズ。

今ヤ歐洲各國ニ於テ生産組合ノ運動ガ萎靡振ハザルコトハ先キニ之ヲ述ベタリ。是レ何ニ由ツテ然ルカ。凡ソ生産組合ハ工場機械ノ設備ノ爲ニ巨額ノ固定資本ヲ要スル所ノ事業ニ於テ發達スベキモノニ非ラズ。奈何ントナレバ是ノ如キ巨額ノ資本ヲ醸出スルコトハ到底勞働者ノ力ノ及バザル所ナレバナリ。是ヲ以テ此種ノ組合ハ大工業ニ應用スルコト甚ダ難ク、只特定ノ小工業ヲ以テ其應用ノ範圍トナスノミ。且失レ生産組合ハ其製品ノ價格ハ激變ニ罹リ易ク又其販路ニ就テ競争ノ劇甚ナル工業ニ於テ發達シ得ベキモノニ非ラズ。蓋シ物價ノ變動、販路ノ消長ヲ見テ之ニ應ズル適當ノ處置ヲナスコトハ多年商工業ノ經驗アル資本家ト雖モ尙

ホ難シトスル所ナリ。況ンヤ是等ノ事柄ニ就テハ概シテ經驗智識ナキ勞働者ニ於テヲヤ。去レバ生産組合ヲ應用スベキ工業ハ特定ノ範圍ニ限極セラレタリト云ハザルヲ得ズ。加之ノミナラズ生産組合ノ經營ノ爲ニ最モ必要ナルハ適當ナル管理者ヲ得ルコト、ス。之ヲ組合員中ニ求ムルハ甚ダ難シ或ハ外部ノ人ヲ備入レテ其任ニ當ラシムルノ方法アルモ此種ノ管理者ハ勞働者タル組合員ニ對シ其思想性行ノ合致セザルコトアリ從ツテ事業ノ進歩ヲ阻害スルノ憂アルヲ免レズ。何レノ場合ニ於テモ管理者ト組合員トノ間ニ純益ノ分配ニ關シ多少ノ衝突ヲ起スコトハ屢々之ヲ見ル所ナリ。又適當ナル管理者ヲ有セル所ノ組合ニ在テモ生産組合ノ性質トシテ其營業ニ關シテ組合員ト協議シ多數ノ意思ニ依ツテ處決セザル可ラザルガ故ニ機ニ臨ミ變ニ應ジ專決果斷ノ處分ヲナスコト能ハズ、靈妙ナル手腕ヲ有セル管理者ト雖モ之ヲ奈何ントモスル能ハザル場合少シトセズ。且夫レ生産組合ノ事業ニシテ一朝否運ニ向ヒ巨額ノ損

184
31572
25
42

失ヲ醸セルトキニ際シ損失ノ填補ヲナスノ方法ヲ設クルコト甚ダ難シ、
奈何ントナレバ組合員ハ悉ク恒産ナキ労働者ナルヲ以テ持分以外ノ出
資ヲナスコト能ハザレバナリ。或ハ準備金ノ制ヲ設ケ之ニ備フルモノア
ルモ組合員ハ純益アルトキハ成ルベク其配當ヲ多クスルコトヲ務メ充
分ナル準備金ヲ積立ツルコト能ハザルハ労働者ノ地位トシテ已ムヲ得
ザルコトナリ。此場合ニ於テ生産組合ハ終ニ破産ノ悲境ニ陥ラザルヲ得
ズ之ヲ要スルニ生産組合ハ各種ノ社會改良策中其經營最モ困難ナルモ
ノタリ。今ニ至ツテ此種ノ畫策ガ盛運ニ向ハザルハ亦偶然ニ非ラズ。
労働者ト産業組合ノ關係ニ於テ余ハ特ニ消費組合及ビ生産組合ニ就テ
説明ヲ試ミタリ。此以外ノ産業組合ニシテ労働者ガ由ツテ以テ其福利ヲ
増進シ其地位ヲ改良スルニ足ルモノナキニ非ラズ。例ヘバ信用組合等ノ
如シ。然レドモ是等ノ組合ハ多クハ小工業者ノ經營ニ係リ労働者ニ依ツ
テ組織セラレタルモノハ各國ニ於テ其實例甚ダ少ナキヲ以テ茲ニ之ニ

論及セザルナリ。

工業經濟論 終

法學博士桑田熊藏著
工業經濟論

(附 奧)

明治四十年三月八日初版印刷 明治四十年三月十一日初版發行
 明治四十一年三月十二日再版印刷 明治四十一年三月十五日再版發行
 大正元年九月一日增訂改版第參版印刷
 大正元年九月五日增訂改版第參版發行

正價金貳圓貳拾錢
 本製金參拾錢增



著者 桑田熊藏

發行者 江草重忠

印刷者 松澤五三

東京市神田區一ツ橋通町七番地

發行所 有斐閣書店

東京市神田區一ツ橋通町七番地
 電話本局一三三番四九番
 振替口座東京三三〇番

東京市神田區南神保町十三番地
 振替口座東京五四〇六番

賣捌所 有斐閣書店

東京市本郷區森川町一番地
 東京市牛込區早稻田鶴卷町

有斐閣雜誌店
 終閣書店
 文影堂書店

40
849

終

